

平成 29 年 2 月 貫井図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 2 月 23 日 (木) 9 時 40 分から 10 時 20 分まで
場所	光が丘図書館 視聴覚室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 貫井図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「貫」)</p> <p>貫井図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (2)</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>(光) 視聴覚室の夜間開放について</p> <p>→ (貫) 夏休み期間中、夜間に視聴覚室を学習席として開放し好評だったため、12 月から視聴覚室の利用予約がない場合に学習席として開放することとした。高校生を中心に年配の男性など 5～6 人ほど、一定の人数の利用がある。トラブルもなく、いろいろな層の方が利用されている。</p> <p>→ (光) 事故の起こらないよう、引き続き巡回をお願いしたい。</p> <p>(光) 緊急対応マニュアルについて、4 月に担当者の異動があるため内容の見直しをお願いする。スタッフ全員がマニュアルを確認できるように設置をしてほしい。</p> <p>→ (貫) 了解した。</p> <p>(光) 例規集について、地震発生時の落下が懸念されるため、配置場所を検討していただきたい。</p> <p>→ (貫) 場所の変更は難しいため、棚に滑り止めテープを貼るなど落下防止策を検討している。あわせて、来年度に向けて事務室内の耐震対策の見積り内容を検討中である。</p> <p>→ (光) 館全体を含めて検討をお願いしたい。</p> <p>② 図書館システム・事業計画について</p> <p>(光) 展示コーナーの企画、展示資料の貸出し数について</p> <p>→ (貫) 児童のテーマ展示の利用が一番多く、すぐに借りられるため補充を繰り返している。貸出し数のデータは出していない。カウンター正面の展示は、年間をとおして全スタッフが担当しており、同じテーマが重ならないよう工夫をしている。一般書は、借りられることを目的とした展示や、点字等のバリアフリー資料の紹介を目的とした展示がある。視聴覚資料も一定の利用がある。</p> <p>(光) 1 月実施の「おとなのためのおはなし会」について</p> <p>→ (貫) 女優を語り手に迎え、小泉八雲の「雪女」「耳なし芳一」を朗読していただいた。定員 50 名で 7 名がキャンセルとなり、43 名が参加した。アンケート結果は好評であり、本職による朗読会を希望される声もあった。来年度も大人向けのおはなし会の企画を考えていく。</p> <p>(光) 地域コーナーの展示「紹介します！本とお店 サンツ中村橋商店街×貫井図書館」について</p> <p>→ (貫) 隔月更新で 1 回に 2 店舗紹介している。今年度は 1 度、店舗とキャラクターを紹</p>

介したため、合計9店舗を紹介した。展示場所が館内の奥にあり、利用者の方からの声は届いていないが、取材の中で商店会長とつながりもできており、来年度も継続をしていく。

(光) 12月実施の「あなたの血管年齢 測定します」について

→ (貫) 練馬区練馬高齢者相談センター中村橋支所との連携事業である。告知の段階から反響があり、41名が参加した。測定器を相談センターにお持ちいただき、プロジェクターを用いた説明の後、保健師3人と参加者が個別に具体的なやりとりを行った。関連資料の展示も行い、順番待ちの方は展示本を手に取り、貸出に結び付けることができた。

③ 児童サービス事業について

(光) 1月に現地モニタリングを行った。期限の過ぎた館内ポスターがあったため、注意をしていただきたい。カーペットコーナーの本の乱れはブックエンドを活用するなどし、整理をお願いしたい。閉架の資料も利用があるものは買い替えを検討していただきたい。

→ (貫) 了解した。

(光) 1月実施の「お正月です！本の福袋で本を借りよう」について

→ (貫) 一般向けに用意した30袋は、初日に全て借りられた。児童向けには、幼児～低学年30袋、低～中学年10袋、中～高学年10袋の合計50袋を用意した。初日にほとんど借りられたが、2日目は天候が悪く、全て借りられたのは3日目の午前中だった。利用者の方から、直接良い評価をいただいております、来年度も継続していく。

④ その他

(光) 利用者アンケートの結果について

→ (貫) 今回から設問の一部で回答の選択肢が変わり、「大変満足している」がなくなり「利用したことがない」という選択肢が設定されたことで、利用したことがない方の割合を把握できた。今後、図書館で実施する事業の更なる周知を図っていく。満足度については一定のラインを保てており、自由コメントも感謝の言葉が多かった。

利用者マナーについてのご意見も多く頂戴しており、スタッフから利用者への注意喚起について、より一層細かく注意を払うようにしていく。図書館側がきちんと対応しているということを周りに伝えていくことも大事なことを考えている。